



書
評

AO 法骨折治療 アドバンスト頭蓋顎顔面手術 腫瘍、骨矯正、外傷

原著：Michael Ehrenfeld, Neal D Futran, Paul N Manson,
Joachim Prein

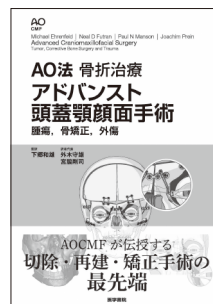
監訳：下郷和雄

訳者代表：外木守雄，宮脇剛司

A4・頁 720 2023 年 11 月 定価：41,800 円（本体 38,000 円＋税 10%）

[ISBN978-4-260-05081-4] 医学書院 刊

<評者> 池邊哲郎（日本口腔外科学会理事長/福岡歯大教授・口腔外科学）



何気なく手に取るとズッシリとしたその重量感に圧倒されます。書籍というものは手に持ってその厚みや重さを感じるだけで読む前から何だか充実して知識が増えたような錯覚にとらわれるものです。表紙も快い上質な手触りで、指先の触感からその内容の豊かさが伝わってきます。ページをめくると豊富な写真やイラストが読者を読む気にさせるでしょう。その触感こそが電子書籍にはない知識のリアリティというものではないのでしょうか。このリアリティこそ AO 法の真骨頂かと思えます。

さて AOCMF による本シリーズの第 1 巻は、2012 年に原書が上梓され、日本語版が 2017 年に発行されました。第 2 巻となる本書は、原書が 2020 年に上梓されたのち、このたびの日本語版の発刊となったわけです。外傷と顎矯正手術における「頭蓋顎顔面骨の内固定」が主題であった 6 年前の第 1 巻と比べると、そのタイトルも『AO 法骨折治療 アドバンスト頭蓋顎顔面手術—腫瘍、骨矯正、外傷』と進化し、内容が格段に充実し、実践的になっています。その目的は、「第 1 巻に示した基本原則/基本手技を超えたより困難な課題を取り扱うのに必要な点をカバーし（中略）包括的な治

療計画を可能にする」という「はじめに」の言葉に端的に表現されています。章立てにつきましても、骨材料、下顎手術、中顔面手術、矯正手術、と分かれ、それぞれの章に第 1 巻にはなかった再建手術の項目を設けて充実させ、さらに「画像診断と手術計画のテクノロジー」を加えて、最新のナビゲーションやカスタムメイド技術も取り入れています。最後の章には「顔面同種移植の原理と技術」という将来を見据えた技術に触れており、痒いところに手が届く充実ぶりです。もちろん前巻同様、カラフルで見やすい豊富なイラスト、写真が挿入され、読者の理解を助けています。根拠となる文献や図書も付記され、エビデンスを伴う最先端の教科書と言えるでしょう。ページをめくだけで手術をしたくなる衝動に襲われると言え言い過ぎでしょうか。

最後になりますが、本書は適切な専門用語を駆使したこなれた文章で、大変読みやすく和訳されています。翻訳していただいた日本口腔外科学会の誇る Surgeon である先生方、そしてまた形成外科と耳鼻咽喉科の素晴らしい先生方に感謝申し上げます。